

令和元年 12 月 13 日

八戸市議会議長 壬 生 八十博 様

議会改革推進委員会
委員長 藤 川 優 里

議会改革検討委員会からの報告について

このことについて、次のとおり報告いたします。

報告内容

- ・ 議員定数の見直しについての意見募集の結果について

●議員定数の見直しについての意見募集の結果について

1. 募集期間 令和元年 10 月 11 日(金)～令和元年 11 月 11 日(月) (必着)
2. 提出者数 17 人
3. 提出方法別

提出方法	直接	郵送	ファックス	ホームページ
件数	3	1	11	2

4. 経緯

本市議会では、議会改革推進委員会を設置し、議会改革について検討しており、議員定数の見直しについては、財政改革の視点、類似都市との比較、更には、市政の将来の予測や展望に十分に考慮し協議を進め、次の四つの意見に集約されたところであり、市民の率直な意見を聞くために、パブリック・コメントを実施いたしました。

意見	議員定数を 4 人削減し、28 人とする。
会派等	自由民主・市民クラブ、公明党、無所属議員
主な理由	人口 20 万以上 30 万人未満の市の議員 1 人当たりの市民の数 8,125 人を基に八戸市の人口に当てはめると、議員定数は 28.3 人と算定されるため。 既に、削減を実施している青森市など他都市との均衡も考慮する。
意見	議員定数を 2 人削減し、30 人とする。
会派等	きずなクラブ
主な理由	人口 20 万以上 30 万人未満の市の平均議員定数は 30.5 人と算定されるため。 人口減少問題など地域の課題に取り組む上で、適正な議員数の確保は必要と考える。
意見	議員定数は、徐々に削減すべき。
会派等	新緑・無所属の会
主な理由	多様な住民の意見を議会に反映する上で、適正な議員数の確保は必要であり、議員定数については、慎重に議論し、徐々に削減すべきと考える。
意見	議員定数を削減せず、32 人とする。
会派等	日本共産党議員団
主な理由	地域の多様な住民の声を市政に反映して議会運営を行う上で、32 人の定数は必要であり、現時点で、議員定数を削減する必要はないと考える。

5. 意見の内容と本市議会の考え方

いただいたご意見の内容と本市議会の考え方は以下のとおりであり、これらの意見については重く受け止め、今後とも、協議を続けてまいりたいと思っております。

No.	意見内容	本市議会の考え方
1	議員定数を削減せず、32人とする。 ○市民のために活動してくれる人が当選しづらくなる。 ○議員1人当たりの負担が増え、相談しづらくなる。	貴重な御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 本市議会といたしましては、議会基本条例に基づき開かれた議会を目指しております。
2	議員定数を削減せず、32とする。 ○他都市との均衡などよりも住民の生活、要望を市政に反映させるためには市議会が活発な議論をすることの方が大事である。 ○議員が出ない地域ができれば、地域住民の要望を反映する機会が失われ、地域格差が生じる。	今後も、住民の多様な意見を取り入れるため、議会報告会の開催、ホームページでの意見募集、タブレット端末の活用、議会基本条例の検証、請願、陳情などの諸制度の周知、充実に取り組んでまいりたいと考えております。
3	議員定数を削減せず、32とする。 ○ヨーロッパ諸国に比べ日本の議員定数は少ない。 ○議員は市民の声を代弁する大切な仕事。議員定数を減らすのではなく市民の声を市政に反映させるようにするべき。	
4	議員定数を削減せず、32とする。 ○住民の多様な意見が市政に反映されなくなる。 ○18歳選挙権の施行も考慮すべき。	
5	議員定数を削減せず、32とする。 ○市民の声を市政に届けるためにはそれなりの議員定数が必要である。	
6	議員定数を削減せず、32とする。 ○市民の意見を広く反映させるため。 ○議会で、もっともっと発言する議員になってほしい。	
7	議員定数を削減せず、32とする。(議員定数の増も検討。) ○市民の多様で小さな声を行政に反映させるため。 ○議員のいない地域からの声が届かなくなる。	
8	議員定数を削減せず、32とする。 ○南郷との合併もあり、地域は広がっているところであり、議員を出せない地域が増えると住民の意見が市政に届かなくなる。	
9	議員定数を削減せず、32とする。 ○住民の多様な意見が市政に反映されなくなるため。 ○定数が減れば立候補者が減ってしまい、投票率の低下につながる。	

No.	意見内容	本市議会の考え方
10	<p>議員定数を削減せず、32とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民の多様な意見が反映されなくなるため。 ○少数への差別や不当に苦しむ人を出さないように特に為政者は注意深く生きているはずである。 ○日々の暮らしのことで多くの市民が苦しんでいるところであり、その人たちの暮らしを優先してくれる市政づくりのためにも現在の定数が必要である。 	<p>貴重な御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。</p> <p>本市議会といたしましては、一部の地域の代表としてだけでなく市民全体の福祉の向上を目指して活動してまいりたいと考えております。</p>
11	<p>議員定数を削減せず、32とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町村合併、財政難などの理由により多くの地方自治体では議員の定数を減らしてきており、それに伴って議員のなり手も減ってきている。 ○立候補者の減少は、投票率の低下を招いていると推測され、以前と比べると、今年4月の八戸市議選の投票率(41.30%)は信じられないくらい低い水準である。 ○最近の八戸市議選の投票率を見て思うことは市議会が市民から遠ざかっていっているのでは、ということである。市議会の動きは「市議会だより」や定例会のあるときは新聞でも報じられるが、それは骨格だけであり、もっと血の通った動きを知りたい。 ○市議会はもっと市民の近くにいるべきであり、市議への門戸を広くし、志のある市民が誰でもなれるようハードルをできるだけ低く保持すべきであると思っている。 	<p>貴重な御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。</p> <p>議員のなり手不足の問題については、総務省において研究会が立ち上がり、検討が行われているところであり、当市議会といたしましては、研究会の推移を注視し、その結果を踏まえ、この問題に取り組んでいきたいと考えおり、また、開かれた議会を目指し、議会報告会の開催、議会のインターネット中継、「市議会だより」の充実など引き続き議会改革に取り組んでまいりたいと考えおります。</p>

No.	意見内容	本市議会の考え方
1 2	<p>議員定数を削減せず、32とする。(議員定数の増も検討。)</p> <p>○多様な住民の意見を市政に反映することはとても大切なことである。</p> <p>○候補者が出ない地域が増えれば、政治への関心が薄れ、投票率が更に下がる。</p>	<p>貴重な御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。</p> <p>本市議会といたしましては、議会のホームページはもとより、様々な広報媒体を活用し、速やかに議会の情報を公開していくこととしており、多くの方々に関心を持っていただけるよう今後も取り組んでまいりたいと考えております。</p>
1 3	<p>議員定数を削減せず、32とする。</p> <p>○定数が削減されれば候補者が出ない地域が増え、今以上に無関心の人が増え、投票率が更に下がる。</p>	
1 4	<p>議員定数を削減せず、32とする。</p> <p>○住民の多様な意見が市政に反映されなくなるため。</p> <p>○候補者が出ない地域が増えれば関心が薄れ、投票率が更に下がる。</p>	
1 5	<p>議員定数を削減せず、32とする。</p> <p>○市議一人一人が市民の声を代弁するとしても限りがある。</p> <p>○八戸市の今後について真剣な議論が必要であり、市民との意見交換会を活発にすべきである。</p>	<p>貴重な御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。</p> <p>本市議会といたしましては、議会基本条例に基づき議会改革に取り組んでおります。</p> <p>今後も、市民と議員との活発な意見交換の場を設けるとともに、議員報酬、政務活動費の透明性の確保に努めてまいりたいと考えております。</p>
1 6	<p>議員定数を削減せず、32とする。</p> <p>○住民に代わって、市政に意見を述べてくれる代議員である議員の定数を削減することは、議会における議員の発言の減少につながり、その結果、住民の多様な意見が市政に反映されにくくなる。</p> <p>○行財政改革を考慮するのであれば、報酬の減額、政務活動費の透明性の確保、どこへ何のために視察に出かけ、何を得たか、具体的に「紙」で広報していただきたい。議員や議会が、住民の声をどれだけ大切に考えているか問われている。</p>	<p>貴重な御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。</p> <p>本市議会といたしましては、議会基本条例に基づき議会改革に取り組んでおります。</p> <p>今後も、市民と議員との活発な意見交換の場を設けるとともに、議員報酬、政務活動費の透明性の確保に努めてまいりたいと考えております。</p>

No.	意見内容	本市議会の考え方
17	<p>議員定数を削減せず、32とする。</p> <p>○市民の意見や要望が通りにくくなる。</p> <p>○新人が出にくくなる。</p> <p>○市議会報告会で、市民から「定数削減すべきではないか」の意見に対し、市議会の答弁は「八戸市は、中核市になりその役割は大きくなっており削減の必要性はないと考えます」と答えている。</p> <p>○議会経費削減については、市議会議員の報酬を2割～3割削減すれば、経費削減になると考える。報酬を削減することは、身をきる改革になる。</p>	<p>貴重な御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。</p> <p>本市議会といたしましては、昨年の議会報告会では、平成29年12月31日現在の人口、財政規模で32人という定数が適正なものかどうかを検討したものであり、今任期行っている協議は、議会基本条例の主旨に沿った、議員定数については、行財政改革の視点及び他市との比較だけでなく、将来の予測及び展望を十分に考慮するという観点から、5年先、10年先の将来の推計人口を考慮した上で、議論しているところであります。</p> <p>また、議員報酬については、本市議会といたしましては、特別職報酬等審議会における答申を尊重してきた経緯があることから、様々な分野からの意見を踏まえながら適正な議員報酬のあり方について取り組んでまいりたいと考えております。</p>